

常磐毎日

「二度あることは二度あつた」

昨夜平の石炭会館全焼

損害は一千萬圓を突破

七日午後六時九分ごろ市長橋町東部石炭会館内同和酒類販賣会社廊下附近から発生した火災は水利の便が悪いと発見したのが遅れとなりて燃え上った火勢はますます猛威を張り、屋根から延いて火の手を広げた紅煙の煙は東部石炭鉱業連盟など十事業所延坪百四十五坪をひどめ、さらに近づいた赤井屋おもじのつて西側の東洋自動車本店車庫に飛火約十五坪を半焼して午後七時ごろ歓火した。原因については平野で当日の宿直員松木久男さん(三七)の出頭を求めて調査をしているが失火説が強い。なお損害については一千方坪以上になると見込まれている。

同和酒類など十事務所焼出さる

から五台が応援に来たが消防栓が現場から約百五十メートル離れた石城財務事務所前と同じく約百五十メートルの研町の二五所だけという水利の便が悪いため発火地元の裏側は新川

矢吹、磯野の決戦か

保守 常磐 華新
矢吹の必死の作戦にもかゝわらず後七時ごろ外側のギルタル作りを終して燃え落とした。このため火の回りの早かつた会

神谷はボヤ
赤字克服に

赤字克服おあすけ

赤字克服に

少年オツニチナ

えと文

谷田 部 風太郎

地獄谷の生
にえ

2

一時は森をぬけると、周囲に
氣を吐きながら、ラムニ部落
の方へ近づいて行きました。
「敵はみんな毒矢だから、気
をつけたんだぞ」

「ビヤンは振
返つておもやき
ます。今度は用
心して、北側の
方から巡回し
て進みました。

「岩が、さへ近づいて来るのでした。
（奴等は何をなぐらんで、部落
おはなれてくるんだらう）

みんなは不思議そうに、岩が
けにかくれて様子をみていまし
た。敵の一はだんだんこち
へ進んできましたかと思ふと、みん
が一列になつて、だんだんとい
ちへ近づいて来るのでした。

（奴等は何をなぐらんで、部落
おはなれてくるんだらう）

が一列になつて、だんだんとい
ちへ近づいて来るのでした。



開発に先がけて 勿來市はガスブーム

天然ガスブームが大きく取り上
げられている折、勿來市鷹の道
部落と同市鷹田字下町地区では
年たらもアツーとおどろきました
約、五十名近く兵士たち

然ガスブームでわざつてている
話題の道の道筋は、數わざ、九
の田んぼの大日本勿來炭鉱がボ
リングを打ちだした（直径、イン
チ半）からガスが湧き出でてしま
る姿は他方では見受けられない。

一方下町地区には自転車店田
中が、このばかり勿來炭鉱組合では昨
年といら小部落で、昨年九月部落内
の田んぼが大日本勿來炭鉱がボ
リングを打ちだした（直径、イン
チ半）からガスが湧き出でてしま
る姿は他方では見受けられない。

話題の道の道筋は、數わざ、九
の田んぼの大日本勿來炭鉱がボ
リングを打ちだした（直径、イン
チ半）からガスが湧き出でてしま
る姿は他方では見受けられない。

石城養鶏連を結成 種鶏場の誘致実現へ

石城地方有

南島園地貿

会では県立

種鶏場分場

の平市説教

本を本中に

なが説教場所として予定され

て、歩きやすいのであります。

みんなは、あともれなく新たに

後をつけ始めました。岩石の間

で、向側には黒い谷間が、大

き口を開けていました。

地で、向側には黒い谷間が、大

き口を開けていました。

「あ、地獄谷だ！」

ムビヤンは、前方をのぞきな

がらいいました。

「な、ひ、地獄谷だと？」

トリヤは驚いて前方をすかし

見ました。それは何十丈ともし

れぬ深い谷間で、底の方には

音をたてて走り返つている

のです。それは見ただけでも怖

いしく、ぞわぞわするみたいに

やでした。このよその地底火山

の現象は、現在でも北海道の登

別や、阿寒湖畔などにも見ると

とができますが、いま、トリヤ

たちの眼の前にあるのは、もつ

とあります。物語、ものなのでした

が、奴等は何のために時方

をしつつとこいつれときだの

だらう。

みんなは不安な気持で、じつ

と機手をつかつていきました。

歌は結ぶ

◆NHK(第一)

子供のシンハッ

◆NHK(第一)

今晚のラジオ

◆ラジオ福島

人音マサキ

◆NHK(第一)

人音マサキ

◆NH

